

JESCO 豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.135)

1. 豊田事業部会について

6月24日(水)に、平成27年度第1回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会豊田PCB処理事業部会」を開催しました。

今回の部会では、処理の進捗状況報告の他、豊田PCB処理事業所で漏洩防止対策の一環として実施しているリクスアセスメント(漏洩に関する危険性及び対策の数値評価)活動に係る取組状況等を報告し、委員の方々からも一定の評価をいただきました。



また、JESCOの「PCB廃棄物処理事業基本計画」の変更が認可され、トランス、コンデンサ等のPCB廃棄物の一部が、従来の処理対象地域を超えて処理可能となったことから、豊田市内を通る全てのPCB廃棄物収集運搬車両の動きをGPSを活用して把握できる体制を整備したことなどについて報告しました。

2. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況のご報告

平成27年4月から6月までの処理実績は右表のとおりです。
引き続き、安全かつ確実に処理を継続してまいります。

平成27年4～6月の処理台数

種 別		処理台数
コンデンサ類		1,273 台
トランス類	大 型	7 台
	小 型	0 台
	車 載 型	12 台
廃PCB等		4 本
保管容器		82 個

3. 施設見学について

平成27年度第1四半期の施設見学者数

	4月	5月	6月	計
団体数	4団体	2団体	5団体	11団体
見学者数	19名	29名	45名	93名

第1四半期も保管事業者の皆様をはじめ、行政の方々や各団体など、多くの方々に当施設をご見学いただき、施設見学を通じてPCB廃棄物の処理状況等について理解を深めていただきました。

施設見学をご希望の方は下記の【豊田PCB処理事業HP】をご参照のうえ、0565-25-3110までお問い合わせください。

PCB処理事業紹介シリーズ 第15回

今回はPCB受入調整設備をご紹介します。

この設備では、PCBを含むトランス油、コンデンサ油等を種類ごとに受け入れ、PCB脱塩素化分解設備(次回ご紹介予定)で塩素とナトリウムを1対1で結合させ脱塩素することによりPCBの無害化を進めるため、あらかじめ処理対象油中の塩素濃度が一定になるように調整します。

■コンデンサ油受入設備



コンデンサ油抜き取り
本体に穴を開けて抜油管を挿入し、コンデンサ油を抜き取る。



抜油受槽
抜き取った油を受け入れる。



塩素濃度調整槽
鉍物油を加え、塩素の濃度を21.5%に調整する。

■トランス油受入設備



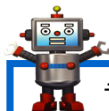
トランス油抜き取り
所定のプラグに抜油管を挿入し、トランス油を抜き取る。



抜油受槽
抜き取ったトランス油をPCBとトリクロロベンゼンに分離し、PCBを受け入れる。



塩素濃度調整槽
鉍物油を加え、塩素の濃度を21.5%に調整する。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO) 豊田PCB処理事業所 0565-25-3110

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのピーちゃん

